

# 今、南原繁を読む

— 生誕130周年に寄せて —

本年2019年は、南原繁生誕130年の記念すべき年に当たっている。そこで、南原繁研究会は、本年11月2日(土)に「今、南原繁を読む—生誕130周年に寄せて—」を共通テーマとするシンポジウムを開催することにした。そのねらいは、南原繁が残した足跡を振り返りつつ、その中に現在から未来にかけて継承すべき遺産を探り当てることにある。

基調報告は、戦後日本の中東研究をリードされてきた**板垣雄三** **東京大学名誉教授**、宗教史学の分野で卓越した業績を挙げられている**島藺進** **東京大学名誉教授**にお願いし、広く南原の『国家と宗教』をめぐる原理的な、あるいは宗教思想史的な問題群に光を当てていただくことにした。また、中国人研究者を含む3人のパネリストには、両先生の基調報告へのコメントをお願いするとともに、天皇制や憲法、あるいは教育といった視点から今、南原繁を読むことの意味について論じていただくことにする。



日時：2019年**11月2日(土)**

13:00 ~ 17:20 [開場 12:15]

場所：学士会館 202号室(東京都千代田区神田錦町3-28)

電話 03-3292-5936

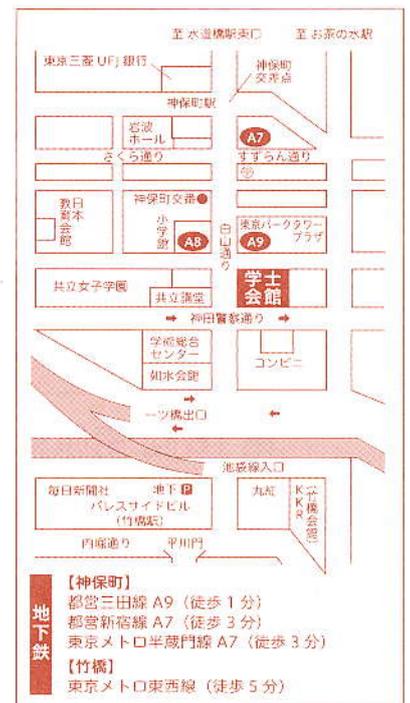
参加費：1,000円・学生500円 (申込み要)

主催：南原繁研究会 (代表 樋野興夫 順天堂大学名誉教授)

後援：岩波書店、学士会、東京大学出版会、公共哲学ネットワーク

申込方法：「南原繁研究会」のホームページに掲載されている申し込みフォーム (またはEメール、FAX、往復はがき、裏面参照) を利用してください。

ホームページ：「南原繁研究会」 <http://nanbara.sakura.ne.jp/>



プログラム

❖開会 13:00

朗読 南原繁の文章から  
開会あいさつ

元TBSアナウンサー 宇野淑子  
南原繁研究会代表 樋野興夫

❖第1部 基調講演 (13:15~14:35)

基調講演 I

# 南原繁『国家と宗教』を読みなおす

—〈世界の危機〉の現在と向き合うために—

東京大学名誉教授 **板垣 雄三**

基調講演 II

# 南原繁・無教会・国家神道

東京大学名誉教授 **島菌 進**

## 国家と宗教

ヨーロッパ精神史の研究

南原 繁 著



戦後、国家神道は文  
をられた国家神道に  
ては、国家として立ち  
つげられた南原繁(1887-19  
74)。フランスから来る  
神学にもヨーロッパ  
精神史をたどり、カテ  
ドリックとして、「正義」  
としての「国家神道」の  
実態こそが国家の根をたどり、理念への完  
成に立脚する政治思想の可成性を示す。 (解説  
・島田隆一郎)



第167巻  
岩波文庫

休憩

❖第2部 パネル・ディスカッション (14:55~17:20)

テーマ: 今、南原繁を読む

●コーディネーター

愛知大学国際コミュニケーション学部教授 **鈴木規夫**

▪ 討論 I

上海社会科学院・宗教研究所所長/研究員 **晏 可佳**  
通訳 同/副研究員 **王 盈**

▪ 討論 II

千葉大学大学院特任研究員 **宮崎文彦**

▪ 討論 III

創価大学文学部教授 **伊藤貴雄**

▪ 全体質疑討論

❖閉会あいさつ

南原繁研究会顧問 **加藤 節**

※なお、シンポジウム終了後、懇親会 (17:30~19:00) を予定しております。(定員100名 会費2,000円 自由参加・当日申し込み)

### シンポジウムへの申し込み方法 (※締め切り 定員250名)

- ① インターネット: 「南原繁研究会」のホームページに掲載されている申し込みフォームを利用して下さい。
- ② Eメール : association@nanbara.sakura.ne.jp
- ③ F A X : 南原繁シンポジウム事務局 **FAX 043-290-3028**
- ④ 往復はがき : 〒263-8522 千葉県稲毛区弥生町1-33  
千葉大学大学院社会科学研究院公共哲学センター内 南原繁シンポジウム事務局

### 第16回 南原繁シンポジウム 参加申込書 (FAX宛先 **043-290-3028**)

氏名		所属	
住所	〒		
電話		E-mail	